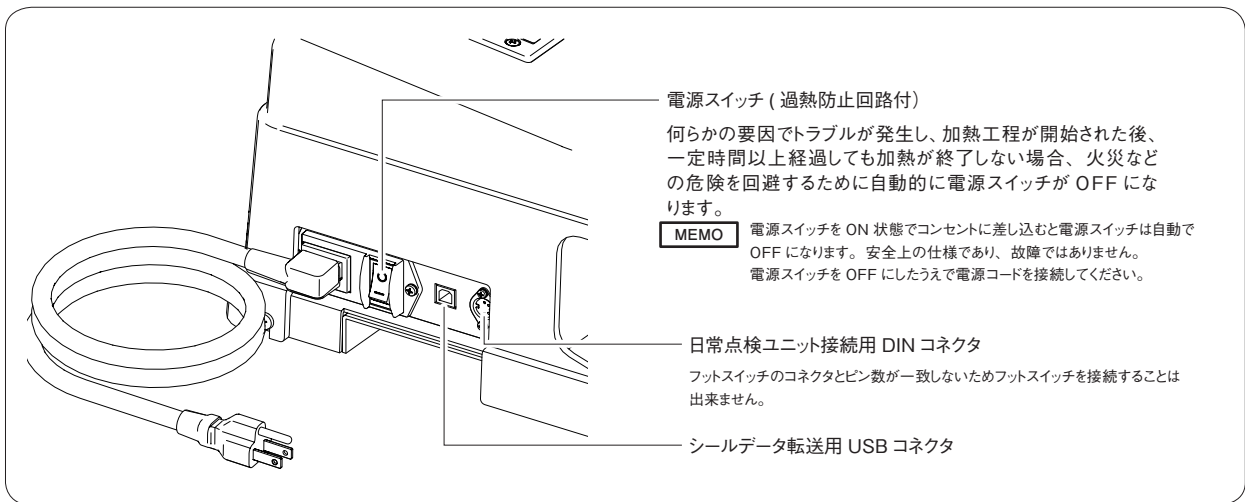
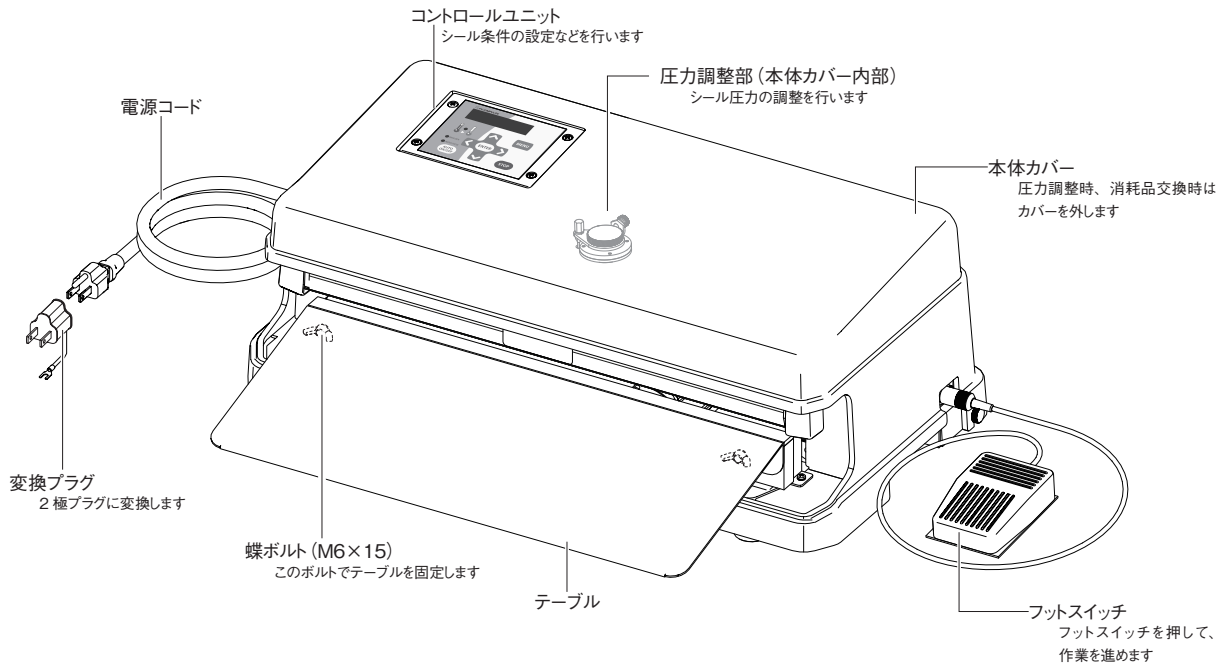
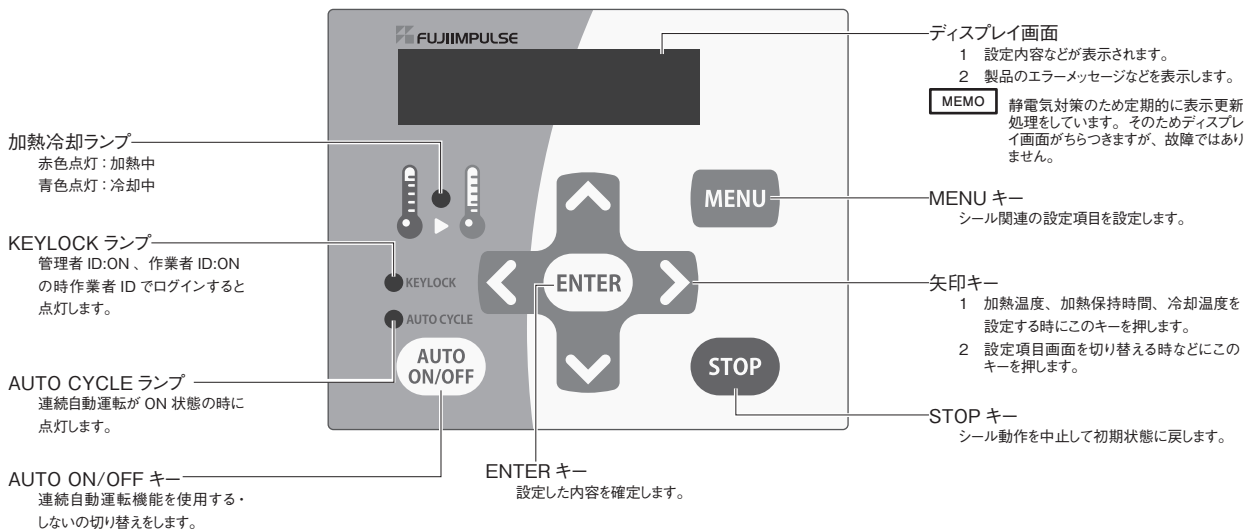


6 各部の名称とはたらき



コントロールユニット



7 正しい使い方

本機を使用する時は以下の『正しい使い方』をよく読みいただき、お使いください。
以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

MDi-350/450 はインパルス方式のシーラーです

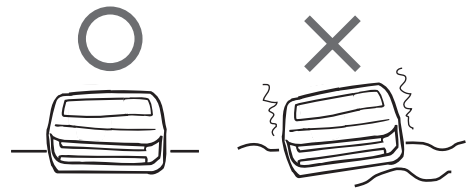
電源スイッチを ON 状態にした後（製品を作動させないで）時間が経過してもシール部が熱くならないのは故障ではありません。MDi-350/450 はインパルス方式（加熱工程時のみ瞬間的に通電加熱）のヒートシーラーですので電源スイッチを ON してもシール部は熱くなりません。

ただし、長時間の連続使用で、シール部が蓄熱して熱くなる場合があります。

7-1 本体の設置

「5 使用上の注意」（→ P.9）を参照して、適切な作業環境でご使用ください。

- 警告** 傾いたり、段差のある不安定な場所では使用しないでください。
製品が設置場所から移動したり、落下したりして、製品の破損や人体の損傷につながります。必ず安定して設置できる水平な平面を持つ場所に作業場所を確保してください。



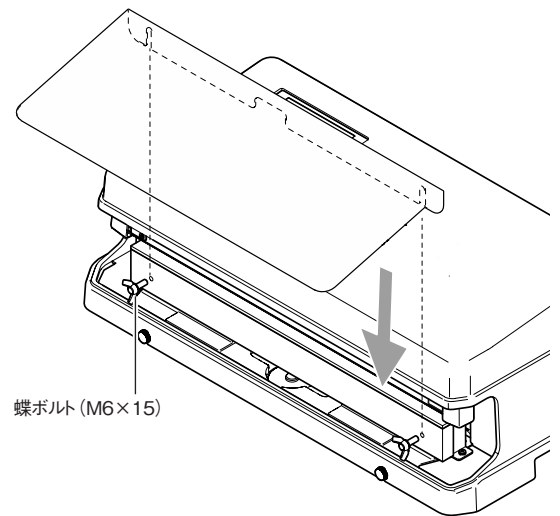
7-2 テーブルの取り付け

テーブルを使用されない場合はこの作業をする必要はありません。

- 1 本体前面の蝶ボルト（2ヶ所）を少し緩めます。
- 2 本体と蝶ボルトの間にできた隙間にテーブル端の L 型に曲っている部分を差し込みます。
- 3 最適な作業位置（高さ）で蝶ボルトを締めてテーブルを固定してください。

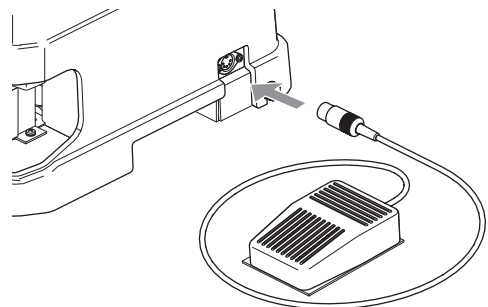
耐荷重：2kg

注！ 受け板のシール面より高い位置でテーブルを固定しないでください。



7-3 フットスイッチの取り付け

付属のフットスイッチを製品右側面にあるフットスイッチ差し込み口に差し込んでください。



7-4 電源コードの接続

電源コードのソケットを製品左側面の電源コード接続用インレットに接続してください。

電源コードの電源プラグを 100V ± 10V の安定した電圧、1500W の電力がとれるコンセント (15A 以上) に確実に根元まで差し込んでください。

2 極コンセントを使用する場合は必ず変換プラグのアース線をコンセントのアース端子に接続してください。

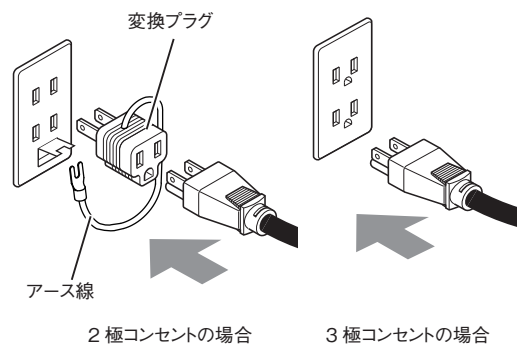
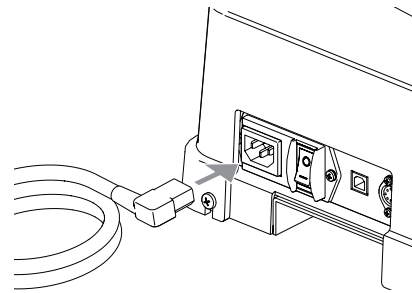
シール時にはコンセント容量いっぱいの電力を使用します。電源環境が悪ければ、機械は正常に動作しません。

警告 アースを接続しない場合、誤動作の原因となる場合があります。

注! 下記は全て電圧低下の原因となります。

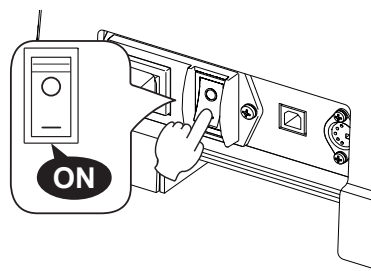
- ・延長コードは使用しないでください。
- ・タコ足配線はしないでください。
- ・右イラストのコンセントでも MDi 用として使用し、電力の大きい製品を空いているコンセントに差し込んで使用しないでください。

MEMO 電源スイッチを ON 状態でコンセントに差し込むと電源スイッチは自動で OFF になります。これは安全上の仕様であり、故障ではありません。電源スイッチを OFF にしたうえで電源コードを接続してください。



7-5 電源スイッチ ON

製品左側面の電源スイッチを ON にするとコントロールユニットのディスプレイ画面に文字が表示されます。



7-6 シール圧力の調整

シールに必要なシール圧力は袋 (フィルム) の材質・厚さにより異なります。使用される袋 (フィルム) に応じてシール圧力を調整してください。

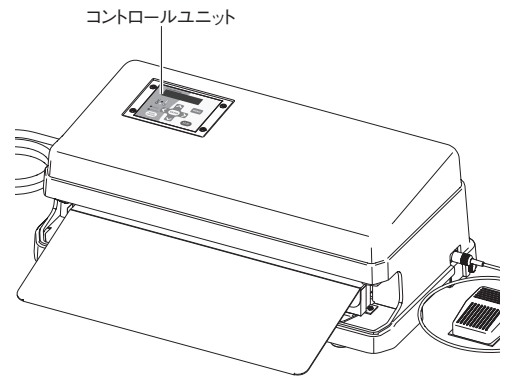
シール圧力調整ナットを回して調整します。「9-1 シール圧力調整」(→ P.34)を参照してください。

異なる袋 (フィルム) を使用されるときはその都度調整してください。

7-7 コントロールユニットの設定

コントロールユニットで、加熱温度・加熱保持時間・冷却温度等のシール条件の設定を行います。

シール条件の設定は「8-2-4 シール条件の設定」(→ P.22)を参照して行ってください。



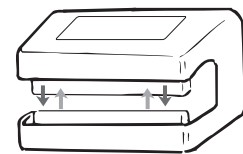
7-8 操作方法の選択

コントロールユニットの  ボタンでマニュアル操作か連続運転かの選択ができます。


マニュアル操作→フットスイッチによるシール動作



連続運転→一定間隔での自動シール動作
(連続運転中は AUTOCYCLE ランプが点灯します)
連続運転間隔の設定は「8-2-11 連続運転の間隔を設定する (MENU6)」(→ P.27)を参照して行ってください。



● STOP ボタン

シール動作中に、何らかの要因で機械の動きを止めたいときは  ボタンを押してください。圧着レバーが上がり初期状態に戻ります。

7-9 試しシールを行う

コントロールユニットの設定ができましたら、シール部に手で袋（フィルム）を持って行きます。（この時、シールする面はしわ、折れなどがないようにしてください。しわなどがある状態でシールするとシール不良となります。）フットスイッチを押すとシール工程に入ります。何度かシールテストを行い、加熱温度などの設定をより良い状態に仕上げてください。

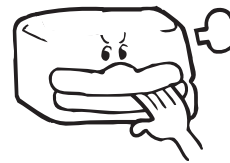
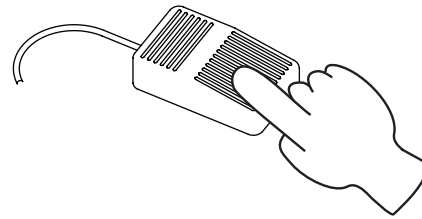
MEMO 使用される袋（フィルム）によってはセンタードライテープに貼り付く場合があります。

注！ 温度センサーは正面から見てシール部中央に設置しています。温度センサーにフィルムが当たるようシール部中央でシールを行ってください。

注意 長時間使用されますとシール部が熱くなり火傷をする危険性があります。

また、強力な圧力が加えられるシール部に指などを入れることはたいへん危険です。異物が挟み込まれマイクロスイッチが約 0.8 秒以内に入らないと自動的に加圧が解除される設計をしていますが、両端部では強い力が掛かり、指が挟まった状態でも加熱工程に入る危険性がありますので充分注意してください。

注意 医療器具など硬い物をシール部に挟み込まないでください。シール部の部品を傷めてしまいます。



7-10 シールのできあがり

加熱・冷却終了後、圧着レバーが上がれば、シール完了です。うまくシールできていない場合は再度、加熱温度・加熱保持時間・冷却温度の設定をやり直してください。



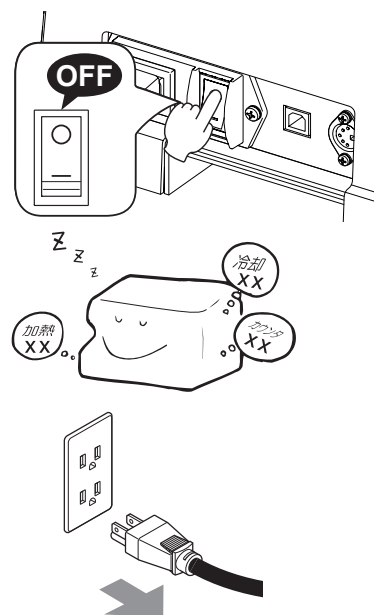
繰り返しシールを行っていくと、センタードライテープに縦すじや、うっすらと丸い跡が発生しますがシールには問題ありませんのでそのまま使用してください。

7-11 電源スイッチを OFF にする

作業が終了したら、必ず電源スイッチを OFF にしてください。

電源スイッチを OFF にしても設定した数値およびカウンター数はコントロールユニットに記憶されますので、もう一度電源スイッチを ON にしても再度設定する必要はありません。

長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



7-12 作業終了後の点検

作業が終了したら清掃を行い、センタードライテープやシリコンゴム、ヒーターなどの部品が傷んでいないか点検を行ってください。

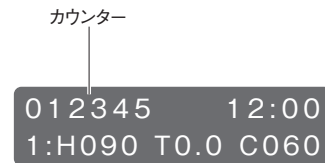
傷んでいるようであれば、交換を行ってください。



その他機能

● カウンターのリセット

シール作業を行うとカウンターの数値が1 ずつ 000001 ~ 999999 の範囲で増えていきます。カウンターのリセットを行いたい場合は「8-2-15 カウンターリセット (MENU4)」(→ P.29)を参照して、リセットを行ってください。



● シールデータ表示・消去

・本製品では保存されているシールのデータ呼び出し、表示させることが出来ます。表示方法は「8-2-16 シールデータ表示 (MENU12)」(→ P.30)を参照してください。

・シールデータは消去することが出来ます。消去したい場合「8-2-17 シールデータ消去 (MENU13)」(→ P.31)を参照して、消去を行ってください。

注!

※シールデータの保存可能件数は7500 件です。7500 件を超えた場合以下の画面が表示され、上書きを行うかどうかの確認をします。OK の場合次の7500 件までこの画面は表示されません。NO の場合シール作業を中断します。

シールデータ上書き確認画面

OVER WRITE OK?
OK:ENTER/NO:STOP

● PC へのシールデータ転送

本製品では PC へのシールデータの転送を行うことができます。詳細は「10 PC へのシールデータ転送」(→ P.35)を参照してください。

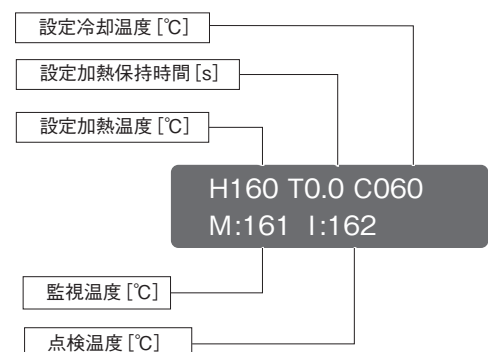
● 日常点検機能

MDi-350/450 では任意のタイミングで温度点検を行うことが出来ます。同梱の検査成績書に日常点検温度を記載しています。その温度と比較していただき値に差異があるようであれば、消耗品の交換等を行い原因を取り除いてください。

また点検用・監視用温度センサーで検知した温度も表示されます。温度ズレが発生している場合どの温度センサーに異常があるかが確認できます。

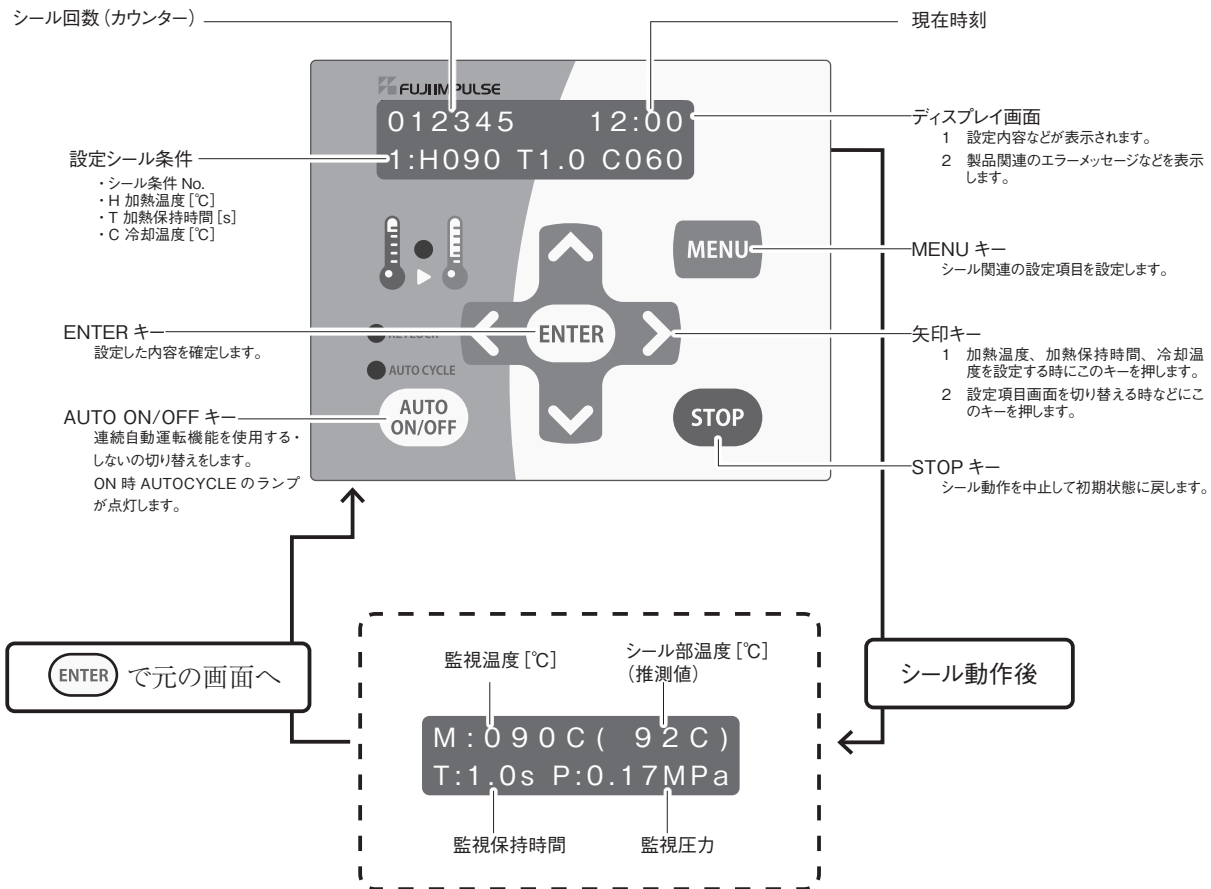
日常点検機能は「8-2-18 日常点検 (MENU14)」(→ P.32)を参照して、使用してください。

日常点検結果

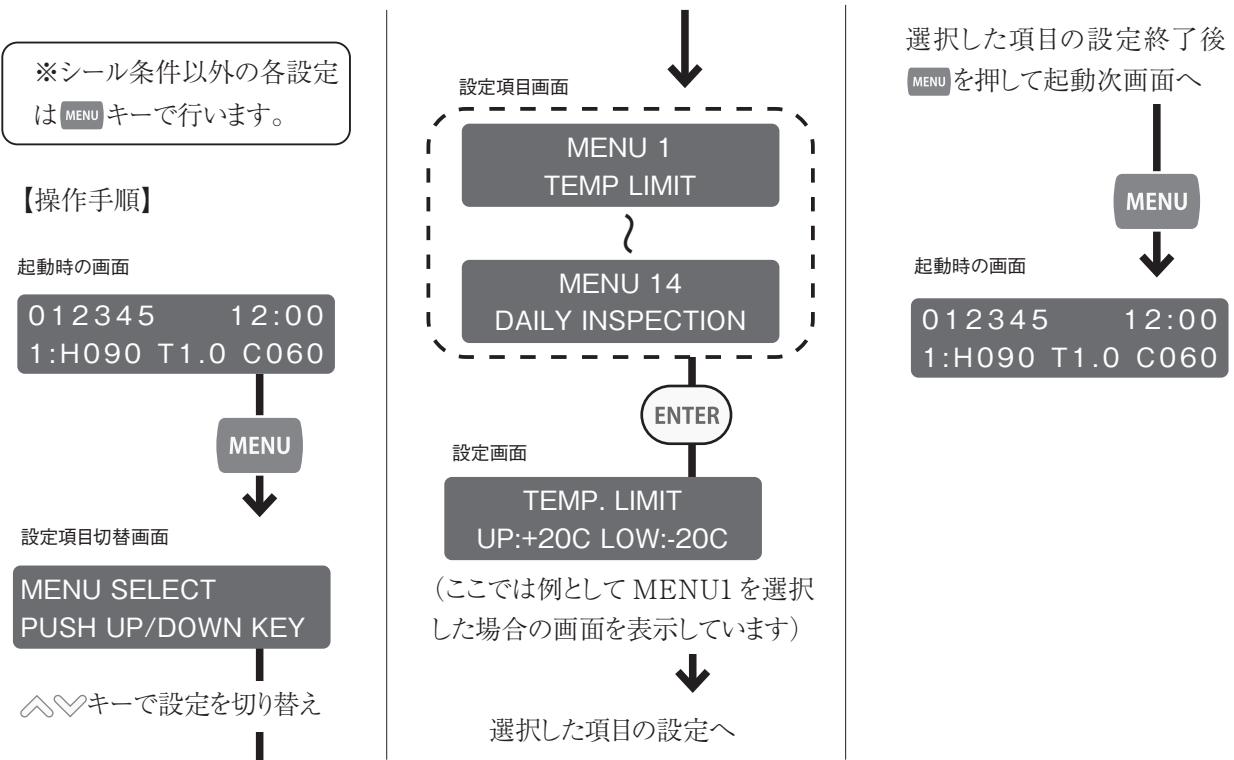


8 コントロールユニットの設定方法

8-1 各キー・各ディスプレイ表示の内容



8-2-1 設定項目の選択 / 設定終了後、起動時画面への戻し方



《コントロールユニット設定目次》

コントロールユニットの設定項目は以下になります。
詳細は各ページをご覧ください。

製品を使用する前の設定

- 「8-2-2 日付・時間設定 (MENU7)」 (→ P.19)
- 「8-2-3 管理者・作業者の登録・ログイン (MENU3)」 (→ P.20)

シールを行う前の設定

- 「8-2-4 シール条件の設定」 (→ P.22)
- 「8-2-5 シール条件の登録・呼び出し」 (→ P.23)
- 「8-2-6 シール条件の各 ID への割り当て」 (→ P.24)
- 「8-2-7 温度上下限設定 (MENU1)」 (→ P.25)
- 「8-2-8 圧力下限値設定 (MENU2)」 (→ P.26)

連続運転を使用する前に

- 「8-2-11 連続運転の間隔を設定する (MENU6)」 (→ P.27)

トラブルの際に確認

- 「8-2-12 温度表示 (MENU9)」 (→ P.28)
- 「8-2-13 シール圧力表示 (MENU10)」 (→ P.28)
- 「8-2-14 圧力センサー出力表示 (MENU11)」 (→ P.29)

その他設定

- 「8-2-9 操作音の設定 (MENU8)」 (→ P.26)
- 「8-2-10 ロットナンバー設定 (MENU5)」 (→ P.27)
- 「8-2-16 シールデータ表示 (MENU12)」 (→ P.30)
- 「8-2-17 シールデータ消去 (MENU13)」 (→ P.31)
- 「8-2-15 カウンターリセット (MENU4)」 (→ P.29)
- 「8-2-18 日常点検 (MENU14)」 (→ P.32)

8-2-2 日付・時間設定 (MENU7)

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で
MENU7 に切り替えてください。

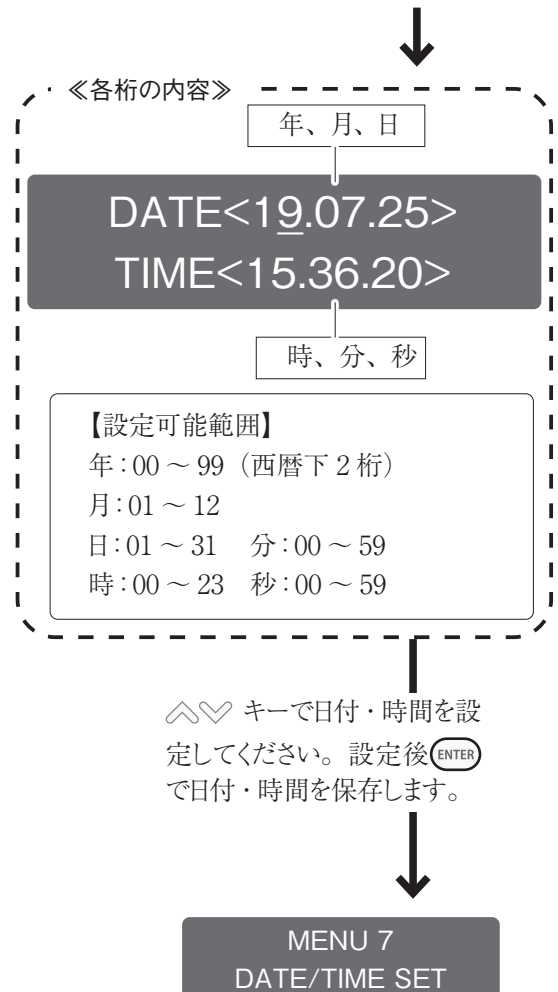
MENU 7
DATE/TIME SET

ENTER

DATE<19.07.25>
TIME<15.36.20>

選択すると上の画面が表示
されカーソルが現れます。

◀ ▶ キーで設定したい桁に
カーソルを移動させてください。



8-2-3 管理者・作業者の登録・ログイン (MENU3)

注! 登録を行う際は管理者 ID と全ての作業者 ID を OFF にした状態で行ってください。
(初期設定ではすべて OFF になっています。)
また作業者登録は管理者が行ってください。

管理者 ID は 1 アカウント、作業者 ID は 10 アカウント登録できます。ID ON/OFF 項目を ON に設定すると、本体起動時にパスワード入力画面が表示され、設定した ID のパスワードを入力するとその ID でログインできます。

【設定項目】

- ID 番号: 00 ~ 10
00: 管理者、01 ~ 10: 作業者
- ID 名: 英数字 8 文字
(初期設定では管理者: ADMINIST、
作業者: OPERAT01 ~ 10)
- ID ON/OFF: ON 有効、OFF 無効
- パスワード: 数字 6 桁

【備考】

・ID 別に表示可能なシール条件 No. を設定できます。「8-2-6 シール条件の各 ID への割り当て」(→ P.24) 参照

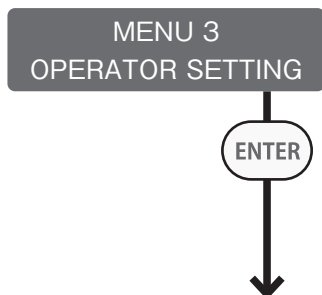
設定条件による設定変更可能 ID の違い

管理者 ID	作業者 ID	メニュー操作 シール条件変更
ON	ON	管理者 ※1
ON	OFF	管理者
OFF	ON	作業者
OFF	OFF	管理者、作業者

※1. この設定条件の場合、作業者 ID でログインするとコントロールユニットの KEYLOCK ランプが点灯します。

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU3 に切り替えてください。



00:OFF<ADMINIST>
PASSWORD<999999>

選択すると上の画面が表示されカーソルが現れます。

⏪ ⏩ キーで設定をしたい項目までカーソルを移動させ ID の設定を行ってください。

《各項目と設定方法》

※パスワードと ID 名は ⏪ ⏩ キーを長押しすることで文字を早く送ることが出来ます。



■ パスワード: ⏪ ⏩ キーで 1 桁目 ~ 6 桁目選択
文字入力: ⏪ ⏩ キーで 0 ~ 9 を選択

! 重要・注意

パスワードを登録する際は、必ずパスワードを控えて頂き、お客様で大切に保管してください。

万一パスワードを紛失されると、ログインが出来ず、各種設定の変更作業を行うことができません。

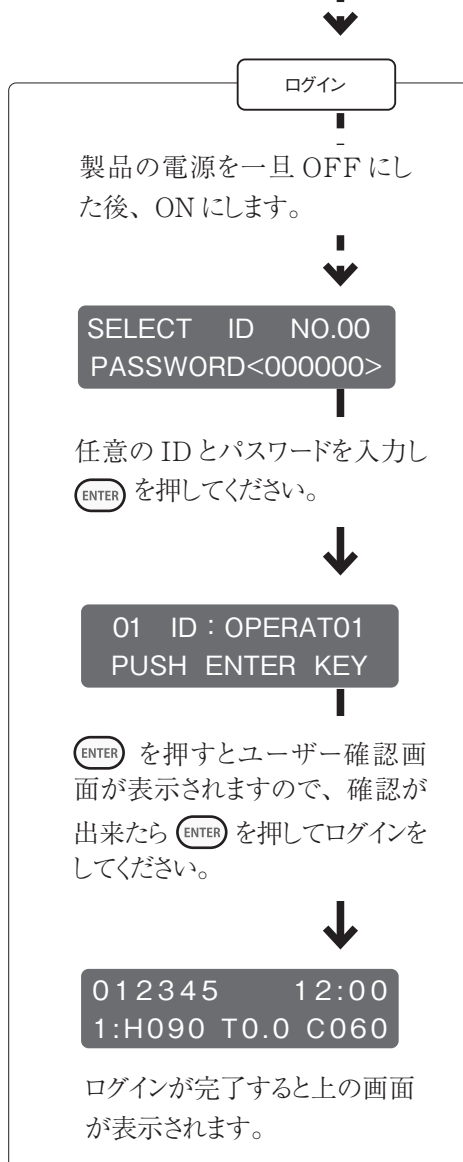
※弊社ではお客様が設定したパスワードを認知・管理することはできません。

↓
 選択した項目の設定完了後
 (ENTER) でIDの設定を保存、完
 了します。

↓
MENU 3
OPERATOR SETTING

完了すると上の画面に戻り次回
 起動時からログイン画面が表示
 されます。

■
注! IDが1つでもONになっていた場合起動
 時にログイン画面が表示されます。



8-2-4 シール条件の設定

【操作手順】

シール条件の設定は起動時の画面から行います。(シール条件は初期設定では以下の設定値になります)

```
012345 12:00
1:H090 T0.0 C060
```

カーソル

◀ ▶ キーで「シール条件 No.」以外の設定したい項目にカーソルを移動させてください。



(ここでは例として H 加熱時間にカーソルを移動させたものとします)

```
012345 12:00
1:H090 T0.0 C060
```

△▽ キーで選択した項目の設定値を調整してください。

注! 設定する温度は制御用及び監視用温度センサー取り付け位置の温度です。シール部温度ではありません。

◀ 各項目の設定範囲 ▶

- H 加熱温度 : 90 ~ 230°C
- T 加熱保持維持間 : 0.0 ~ 5.0 秒
- C 冷却温度 : 60°C ~ 加熱温度

注意 冷却温度は加熱温度より高い温度には設定できません。

※ △▽ キーを長押しすることで値を早く送ることが出来ます。

値が調整出来たらシール条件の設定は完了です。
(ここでは例として加熱温度を 120 に設定しています。)

```
012345 12:00
1:H120 T0.0 C060
```

8-2-5 シール条件の登録・呼び出し

【機能】

シール条件は5パターン登録することができます。
シール条件 No.1～5を選択し、各 No. に条件を登録します。

【操作手順】

まずシール条件 No. の選択を起動時の画面から行います。

(シール条件 No. は初期状態では1になっています。)

起動時の画面

```
012345    12:00
1:H090 T0.0 C060
```

シール条件 No.

カーソルが「シール条件 No.」の下にある状態で \wedge \vee キーで任意の No. を選択してください (ここでは例として2を選択しています)

選択可能なシール条件 No. は1～5です。また5が選択されている状態で \wedge キーを押すと1に戻ります。

```
012345    12:00
2:H090 T0.0 C060
```

シール条件 No. が選択できたら「8-2-4 シール条件の設定」(→ P.22) を参照して任意のシール条件を設定してください。(ここでは例として160℃とします)



```
012345    12:00
2:H160 T0.0 C060
```

値が調整出来たら選択したシール条件 No. でのシール条件の設定、登録は完了です。



条件の呼び出し

登録した条件を呼び出した場合は、「起動時の画面」に表示されているシール条件 No. を呼び出したい条件が登録されているシール条件 No. に変更してください。

```
012345    12:00
1:H090 T0.0 C060
```

呼び出したいシール条件 No. に変更する

8-2-6 シール条件の各 ID への割り当て

「8-2-5 シール条件の登録・呼び出し」(→ P.23) で登録したシール条件を各 ID へ割り当てることができます。

【操作概要】

- ① 管理者 ID でログインし管理者 ID を OFF、シール条件を割り当てる ID を ON
- ↓
- ② 製品の再起動、シール条件を割り当てる作業者 ID でログイン
- ↓
- ③ シール条件の割り当て
- ↓
- ④ 管理者 ID を ON

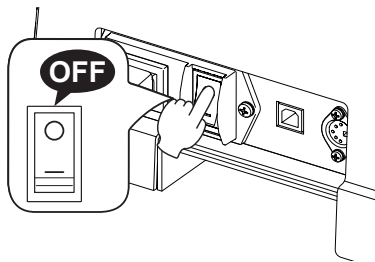
①

注! 本設定を行う際は「8-2-3 管理者・作業者の登録・ログイン(MENU3)」(→ P.20)を参照し、管理者 ID を OFF にし、シール条件を割り当てたい作業者 ID を ON にした状態で行ってください。また本設定は管理者が行ってください。

②

【操作手順】

一度製品の電源を OFF にし、再起動してください。



SELECT ID NO.00
PASSWORD<000000>

再起動すると上の画面が表示されます。シール条件を割り当てたい作業者 ID とパスワードを入力し **ENTER** を押してください。

01 ID : OPERAT01
PUSH ENTER KEY

ENTER を押すとユーザー確認画面が表示されますので、確認が出来たら **ENTER** を押してログインをしてください。

③

012345 12:00
1:H090 T0.0 C060

ログインすると上の画面が表示されます。

「8-2-5 シール条件の登録・呼び出し」(→ P.23)を参照し、割り当てたいシール条件を呼び出し、表示させてください。

012345 12:00
2:H160 T0.0 C060

ここで表示したシール条件がログインした作業者 ID で使用できるシール条件になります。(上画面のシール条件は例です)

④

割り当てたいシール条件が決まったら「8-2-3 管理者・作業者の登録・ログイン(MENU3)」(→ P.20)を参照し、管理者 ID を ON にしてください。

※次回起動時から作業者 ID でのメニュー操作、シール条件変更がロックされます。

8-2-7 温度上下限設定 (MENU1)

シール中に監視温度が上下限温度から外れた時にエラーを表示し、シール動作を中断します。

【設定可能範囲】

- 温度上限値：UP
+ 10 ~ + 20℃ (初期設定では+ 20℃)
- 温度下限値：LOW
- 10 ~ - 20℃ (初期設定では- 20℃)

※上下限値は加熱温度に対する差分です。
(例) 加熱温度 180℃、上限値 +10℃の場合
→ 上限温度 190℃

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU1 に切り替えてください。

MENU 1
TEMP LIMIT

ENTER

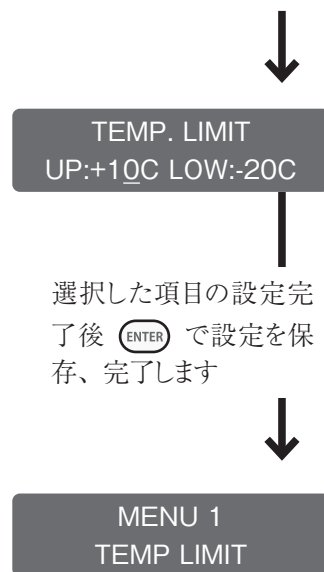
TEMP. LIMIT
UP:+20C LOW:-20C

選択すると上の画面が表示されカーソルが現れます。

◀ ▶ キーで設定したい項目にカーソルを移動させてください。
(ここでは例として UP にカーソルを移動させ、設定値を +10 にします)

TEMP. LIMIT
UP:+20C LOW:-20C

△▽ キーで設定値を調整してください。



完了すると上の画面に戻ります。

8-2-8 圧力下限値設定 (MENU2)

シール中のシール圧力を監視し、圧力が下限値より低くなるとエラーを表示し、シール動作を中断します。

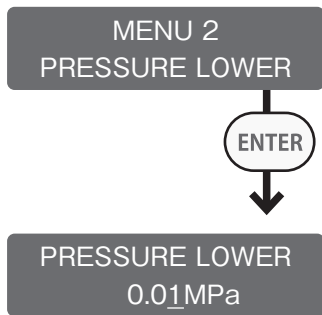
【設定可能範囲】

■ 圧力下限値

0.01 ~ 0.25MPa (初期設定では 0.01MPa)

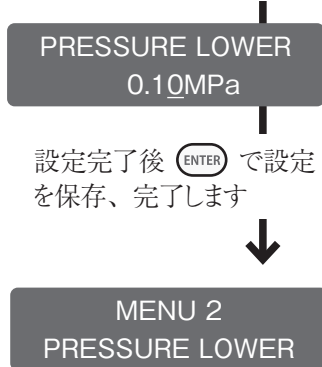
【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU2 に切り替えてください。



選択すると上の画面が表示されカーソルが現れます。△▽ キーで設定値を調整してください。(ここでは例として設定値を 0.10MPa にします)

注! この時「8-2-13 シール圧力表示 (MENU10)」(→ P.28) で測定される圧力値以上に圧力下限値を設定しないでください。エラー 1201 が発生します。また構造上同じ圧力調整ナット位置でも圧着ゴムの状態変化(軟化や消耗)によって圧力値は変化します。エラーが発生する場合はシール圧力調整するか圧力下限値を下げてお使いください。



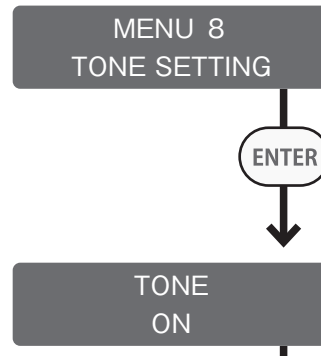
完了すると上の画面に戻ります。

8-2-9 操作音の設定 (MENU8)

このメニューではキーを押した時やシール開始時のブザー音の ON/OFF 設定を行います。(初期設定では ON になっています) また設定を OFF にしても、エラー発生時のエラーブザー音は鳴ります。

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU8 に切り替えてください。



選択すると上の画面が表示されます。

△▽ キーで ON/OFF を切り替えます。(ここでは例として OFF にします)



設定完了後 ENTER で設定を保存、完了します



完了すると上の画面に戻ります。

8-2-10 ロットナンバー設定 (MENU5)

【設定可能範囲】

英数字 10 桁

(初期設定では 0000000000)

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU5 に切り替えてください。

MENU 5
LOT No. SETTING

ENTER

LOT NUMBER
00000000

選択すると上の画面が表示されカーソルが現れます。

◀ ▶ キーで設定したい桁にカーソルを移動させてください。

△▽ キーで設定値を調整してください。(ここでは例として設定値を 012345678A にしています)

LOT NUMBER
012345678A

設定完了後 ENTER で設定を保存、完了します

MENU 5
LOT No. SETTING

完了すると上の画面に戻ります。

8-2-11 連続運転の間隔を設定する (MENU6)

このメニューでは連続運転の運転間隔時間 (連続シール時の冷却終了から次のシール開始まで) を設定します。

【設定可能範囲】

0.1 秒～ 5.0 秒 → 0.1 ずつ増減

(初期設定では 1.0 秒になっています)

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU6 に切り替えてください。

MENU 6
AUTO CYCLE TIME

ENTER

AUTO CYCLE TIME
1.0s

選択すると上の画面が表示されカーソルが表れます。

△▽ キーで設定値を調整します。(ここでは例として 1.5s とします)

AUTO CYCLE TIME
1.5s

調整が完了したらを ENTER 押して設定を確定してください。調整をキャンセルする場合は MENU を押してください。

MENU 6
AUTO CYCLE TIME

どちらかの操作を行うと上の画面に戻ります。

8-2-12 温度表示 (MENU9)

このメニューでは温度センサーが感知している温度を表示します。

【用語解説】

■ CONTROL

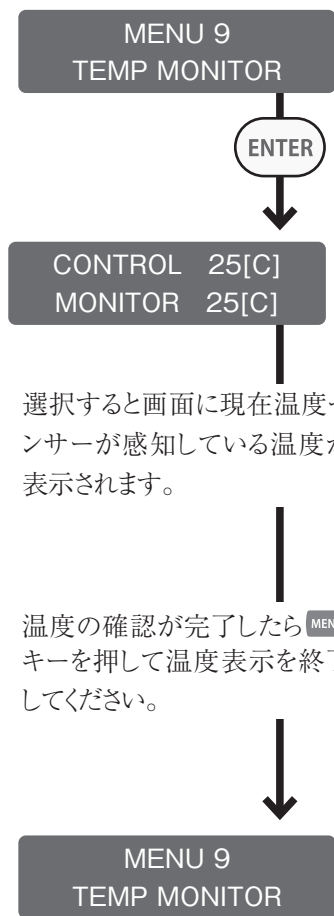
制御用温度センサーの温度

■ MONITOR

監視用温度センサーの温度

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU9 に切り替えてください。



選択すると画面に現在温度センサーが感知している温度が表示されます。

温度の確認が完了したら **MENU** キーを押して温度表示を終了してください。

8-2-13 シール圧力表示 (MENU10)

このメニューではシール時、シール面に掛かる圧力を表示します。また圧力調整を行う際このメニューで表示される圧力を参照して行います。

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU10 に切り替えてください。



選択すると上の画面が表示されます。

フットスイッチを押して圧着レバーを閉じてください。3秒後圧着レバーが開き画面に圧力値が表示されます。(この際加熱は行いません)

表示された圧力を参照し、圧力調整を行ってください。

シール圧力の調整は「9-1 シール圧力調整」(→ P.34)を参照し、行ってください。

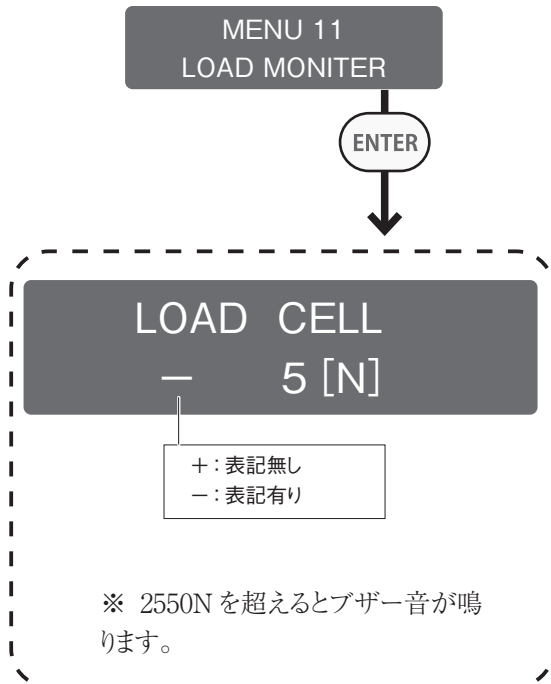
圧力調整が完了したら **MENU** キーを押してシール圧力表示を終了してください。

8-2-14 圧力センサー出力表示 (MENU11)

このメニューではが圧力センサーが感知している荷重を表示します。

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU11 に切り替えてください。



選択すると上の画面が表示され、現在圧力センサーに掛かっている荷重が表示されます。(ここでは例として-5Nとしています)

MENU キーを押して圧力センサー出力表示を終了してください。



8-2-15 カウンターリセット (MENU4)

このメニューではカウンター数 (シール回数) をリセットします。

【備考】

シール作業を行うとシール回数をカウントし、ディスプレイ画面にカウンター数 (シール回数) を表示します。

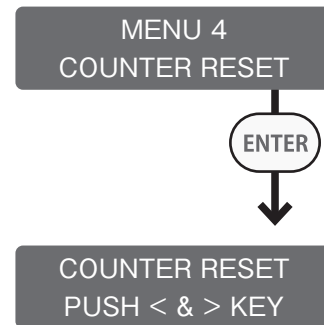
表示範囲 : 000000 ~ 999999
(999999 になると自動でリセットされます)

カウンター数
(シール回数)

012345 12:00
1:H090 T0.0 C060

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU4 に切り替えてください。



選択すると上の画面が表示されます。

◀ キーと ▶ キーを同時に押すことでブザー音が 2 回鳴り (ピピッ) カウンターがリセットされます



リセットが完了すると上の画面に戻ります。

8-2-16 シールデータ表示 (MENU12)

このメニューでは保存されているシールデータを呼び出し、表示します。

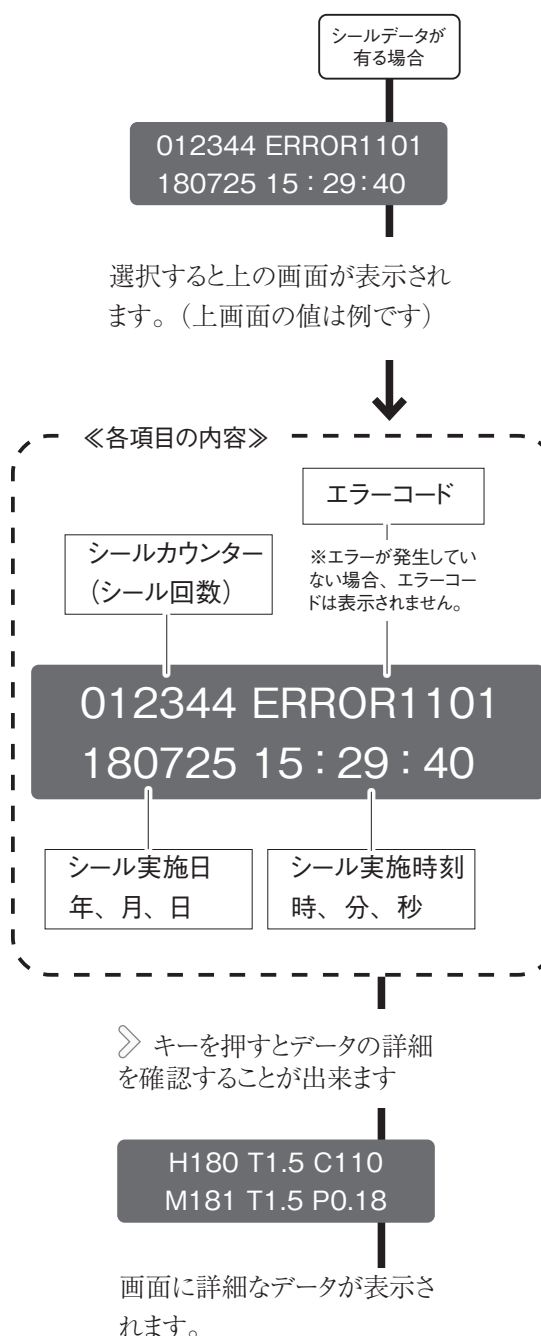
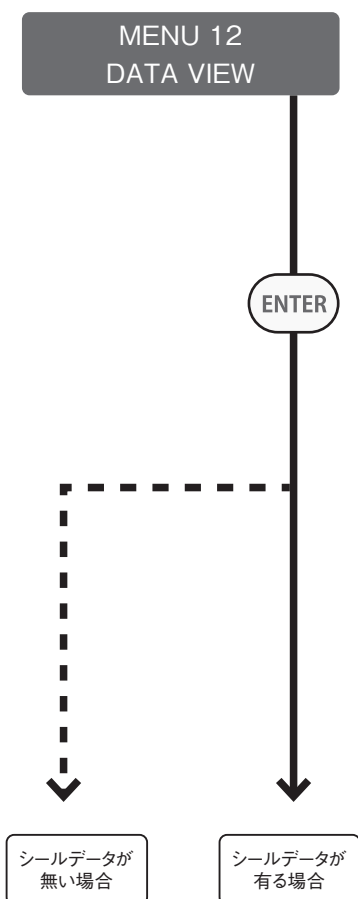
※保存可能件数 7500 件

注! シールデータの保存可能件数は 7500 件です。7500 件を超えた場合以下の画面が表示され、上書きを行うかどうかの確認をします。OK の場合次の 7500 件までこの画面は表示されません。NO の場合シール作業を中断します。

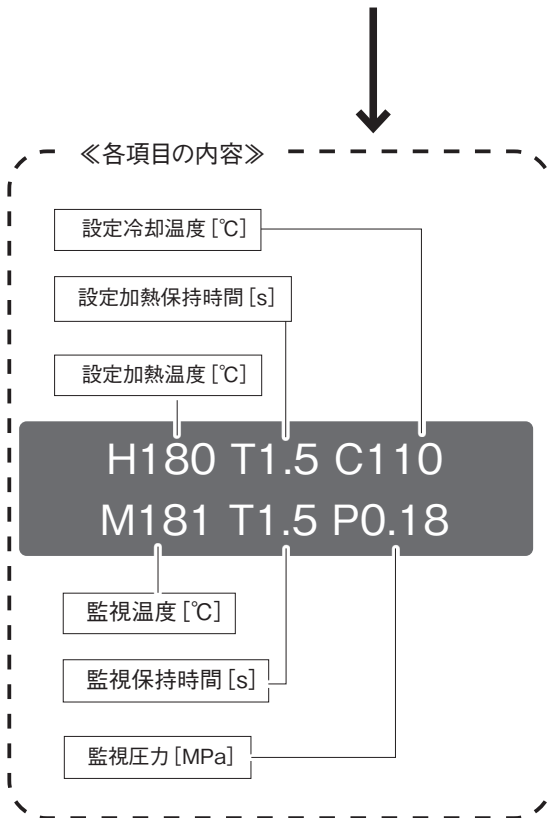
OVER WRITE OK?
OK:ENTER/NO:STOP

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で MENU12 に切り替えてください。



8-2-17 シールデータ消去 (MENU13)



◀ キーで1つ前の画面に戻ります。

012344 ERROR1101
180725 15:29:40

∧ キーで次のデータ ∨
キーで前のデータを選択できます。

データの確認が完了したら
MENU キーを押してメモリーデータ表示を終了してください。

MENU 12
DATA VIEW

保存されているシールデータを全て消去します。
(シールカウンター (シール回数) はリセットされません)

【操作手順】

はじめに設定項目選択画面で
MENU13 に切り替えてください。

MENU 13
DATA ERASE

ENTER

DATA ALL ERASE
PUSH < & > KEY

選択すると上の画面が表示されます。

◀ > キーを同時押しすると消去が開始されます。

ERASING . . .
DON' T POWER OFF

消去中は上の画面が表示されます。
(※このとき電源を切らないでください)

FINISHED
PUSH MENU KEY

消去が完了すると上の画面が表示されます。
MENU キーを押してメモリーデータ消去を終了してください。

MENU 13
DATA ERASE

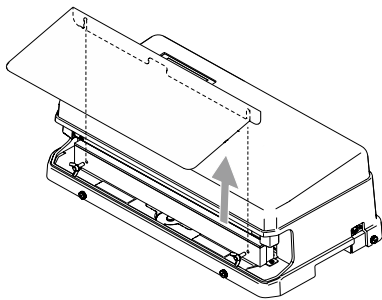
8-2-18 日常点検 (MENU14)

このメニューでは消耗品の劣化や取り付け間違いによる温度異常を見つけるために点検を行います。同梱の検査成績書に記録してある日常点検温度を目安に温度変化を確認します。

注! 日常点検を行う際はシール機が十分冷えた状態で行ってください。蓄熱している状態では正確に温度測定ができません。

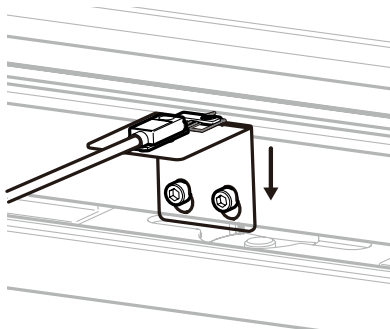
日常点検を行う前の準備

①イラストを参照してテーブルを取り外してください。

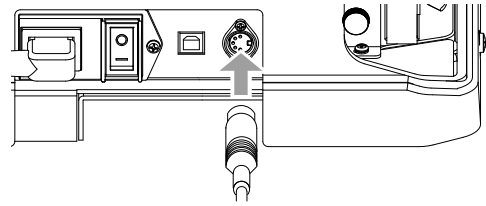


②受け板の中央部から出ているキャップボルトに日常点検ユニットのだるま穴を引っ掛け、温度センサーがシール面に乗るようにセットしてください。

注! 日常点検用温度センサーの取り扱いには十分ご注意ください。センサー部に指で直接触れたり、折り曲げたりしないでください。センサー部が変形すると、正常に温度測定できなくなります。
日常点検用の温度センサーは、専用の保管ケースに入れて大切に保管してください。



③本体左側面の DIN コネクタに日常点検ユニットのコネクタを接続してください。



注! シール部に日常点検ユニットのハーネスを挟まないように注意してください。

準備ができたら

【操作手順】

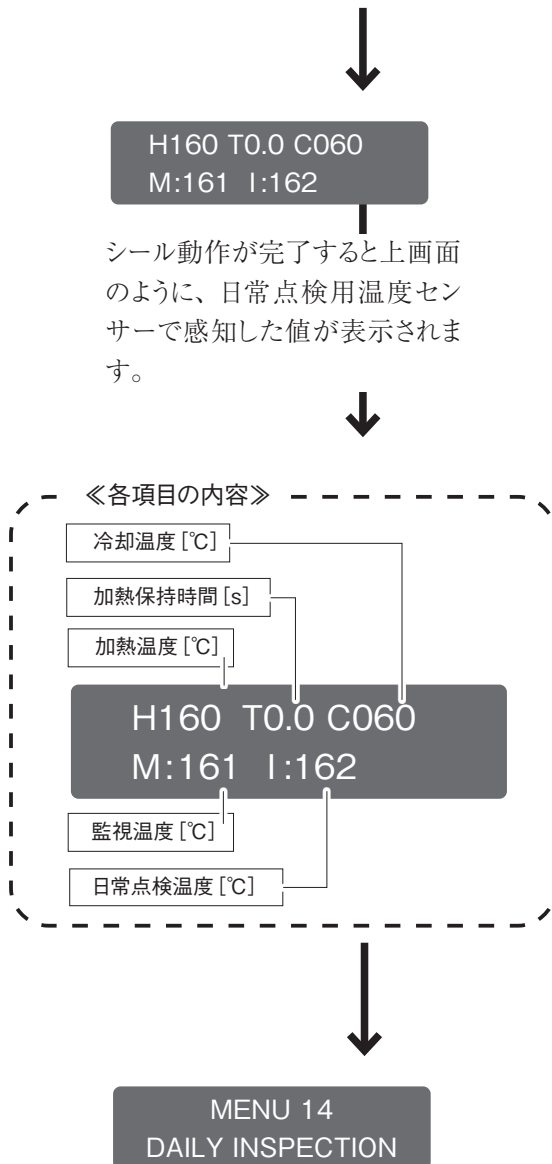
はじめに設定項目選択画面で MENU14 に切り替えてください。

MENU 14
DAILY INSPECTION

ENTER

H160 T0.0 C060
PUSH FOOT SW

選択すると上の画面が表示されます。フットスイッチを押してシール動作を行ってください。



データの確認が完了したら何れかのキーを押して前の画面に戻るか、**MENU** キーを押して日常点検を終了してください。

注! 検査成績書に記録してある日常点検結果より±10℃を越えて異なる場合、消耗品(センタードライテープとヒーター)を交換して日常点検を再度行ってください。それでもなお、日常点検温度より±10℃を越えて異なる場合は制御温度の異常もしくは日常点検用温度センサーの故障が考えられます。

9 各部の調整方法

9-1 シール圧力調整

- 1 「7-3 フットスイッチの取り付け」(→ P.13)を参照し、フットスイッチを本体に接続してください。
- 2 「11-1 部品交換のための準備」(→ P.37)を参照し、本体カバーを取り外してください。
- 3 圧力調整ナット固定ビスを緩めてください。
- 4 圧力調整ナットを時計方向に止まるまで回してください。
- 5 止まった後反時計方向へ半回転させてください。
- 6 「8-2-13 シール圧力表示 (MENU10)」(→ P.28)を参照し、圧力表示を行ってください。シールする袋をシール部に持って行きフットスイッチで圧着レバーを閉じてください。コントロールに表示される圧力値を参考に赤枠範囲内で任意の圧力になるよう調整してください。
- 7 調整後は必ず固定ビスで圧力調整ナットを固定してください。

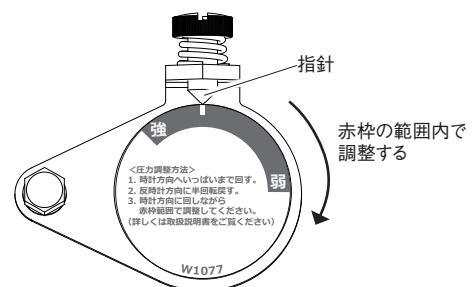
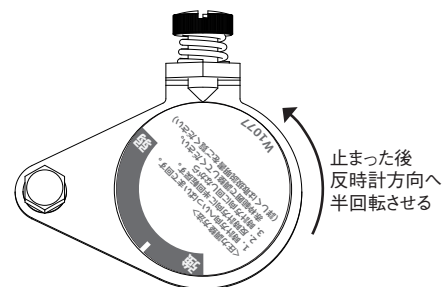
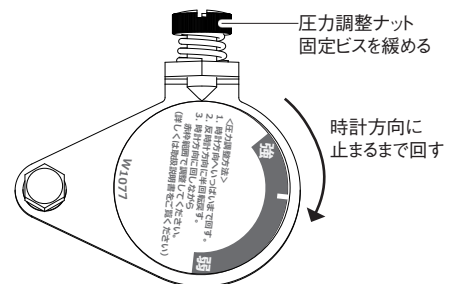
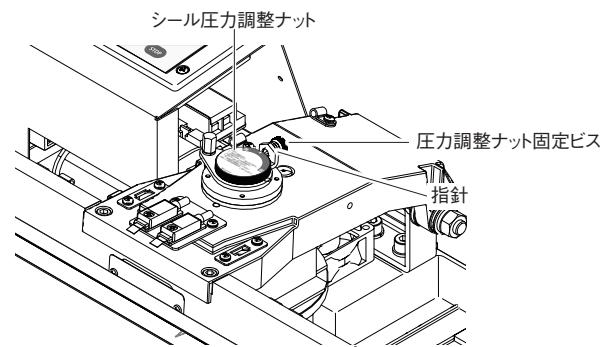
警告 調整が正常な状態で赤枠以外で使用するとシール不良の原因となったり、ソレノイドの吸引力が落ちてマイクロスイッチが入らなくなり圧着レバーが降りたままになることがあります。また、過大な加圧力がかかり大変危険ですので調整ナットのシールに記載している赤色の範囲内にセットして使用してください。

注意 圧力調整ナットを回し足りない状態(いっぱいに戻した状態から1回転以上戻した状態)で使用すると圧着レバーの昇降音が大きくなります。レバーが閉じた状態になったり、動作していてもシール圧力も弱くなり、シール状態が悪くなります。

注! シール圧力を調整する際は、必ず実際に使用する包材を挟んだ状態で行ってください。包材がない状態と包材を挟んだ状態では圧力値が変化します。

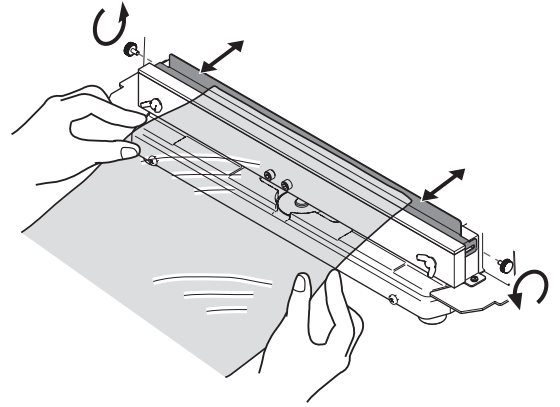
通常、包材を挟んだ状態の方が圧力値が高くなりますが、圧力が強い状態で厚みのある包材を挟んだ時など、ソレノイドが引き切らず、圧力値が逆に小さくなる場合があります。

MEMO 赤枠範囲内で圧力調整しきれなくなった場合は圧着ゴムの交換が必要になります。「11-7 圧着ゴムの確認」(→ P.42)を参照し、圧着ゴムを交換してください。



9-2 シール位置の調整方法

- 1 シール受け板の奥の両サイドにある白ユリヤネジ 4×8 を緩めます。
- 2 シール位置調整ゲージが前後にスライドします。袋(フィルム)のシールしたい位置(右イラストではシール受け板の位置)にヒーターが来るようにゲージを前後させてください。
- 3 位置が決まれば白ユリヤネジを締付け、シール位置調整ゲージを固定してください。



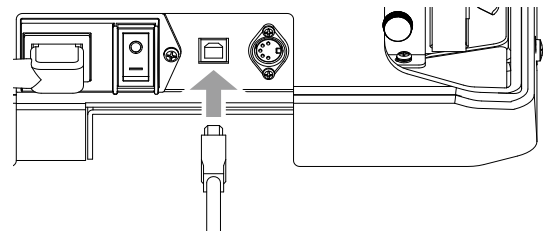
10 PC へのシールデータ転送

MDi-350/450 は PC へシールデータを転送することが出来ます。

PC へのシールデータの転送方法は「MDi-Master 取扱説明書」をご覧ください。

■ データ転送の概要

PC と製品本体を USB ケーブルで繋げた際、以下の画面が表示され自動でシール機の情報を読み込みます。読み込みが完了すると通常の画面に移ります。



MODEL DATA
TRANSMITTING

PC 側からの操作でシールデータ取得操作を行うと以下の画面がコントロールユニットのディスプレイに表示されます。

ALL DATA
TRANSMITTING

MEMO シールデータは、7500 回分保存可能です。7500 件を超えた場合以下の画面が表示され OK を選択した場合古いデータは上書きされます。詳しくは「8-2-16 シールデータ表示 (MENU12)」(→ P.30)を参照

OVER WRITE OK?
OK:ENTER/NO:STOP